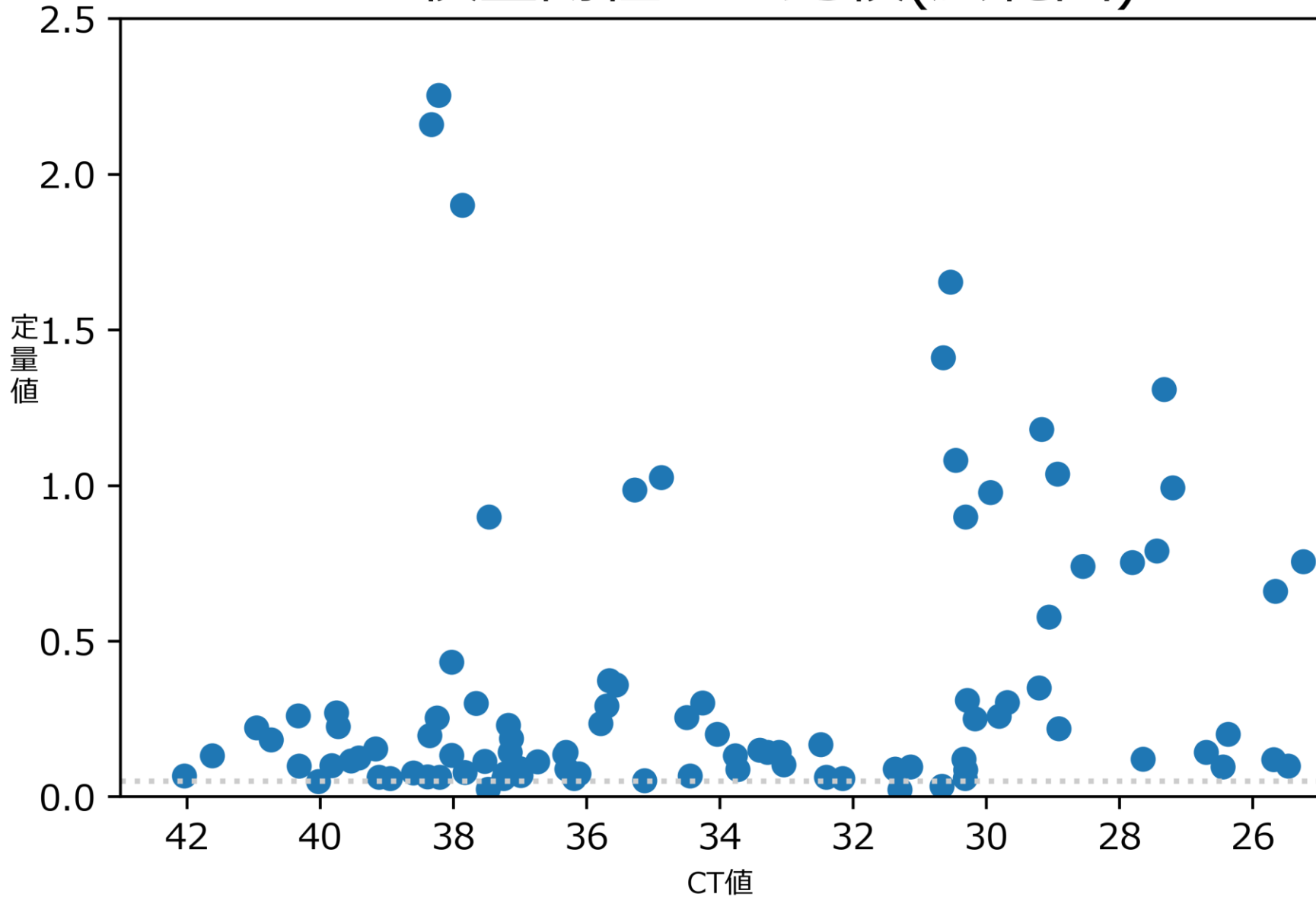


PCR検査のCT値と抗原定量検査の定量値 散布図

X軸がCT値、Y軸が定量値となっています。

PCR検査陽性との比較(広範囲)



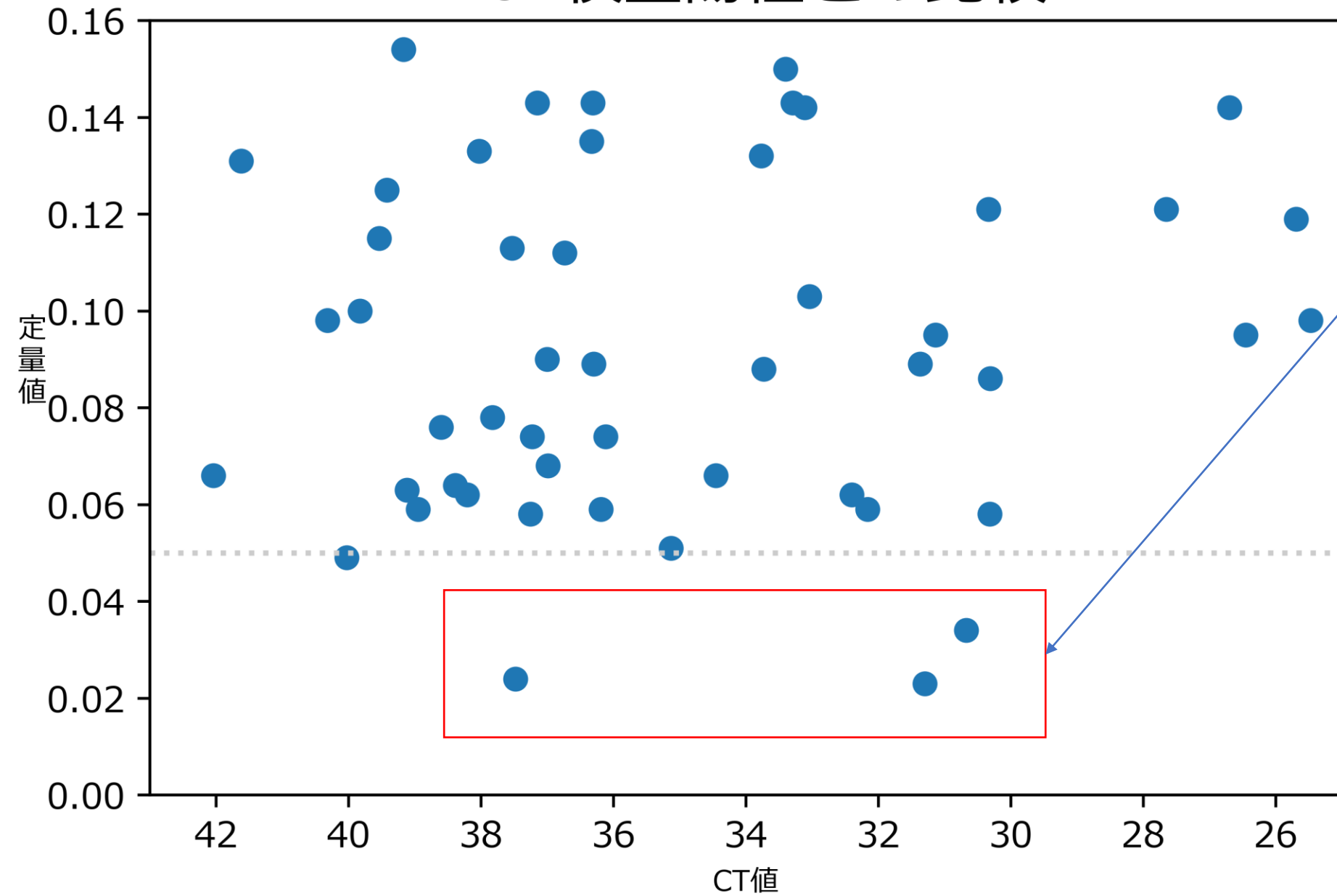
抗原定量の陽性ライン
(閾値) は0.05です。

CT値が高いほど、
元のウイルス量は少ない
ことになるので、
CT値が高い方をX軸の左に
しました。

CT値の最高は42を少し
超えています。

CT値が低いからと言って
N蛋白質量が高い(比例)
という事はないようです。

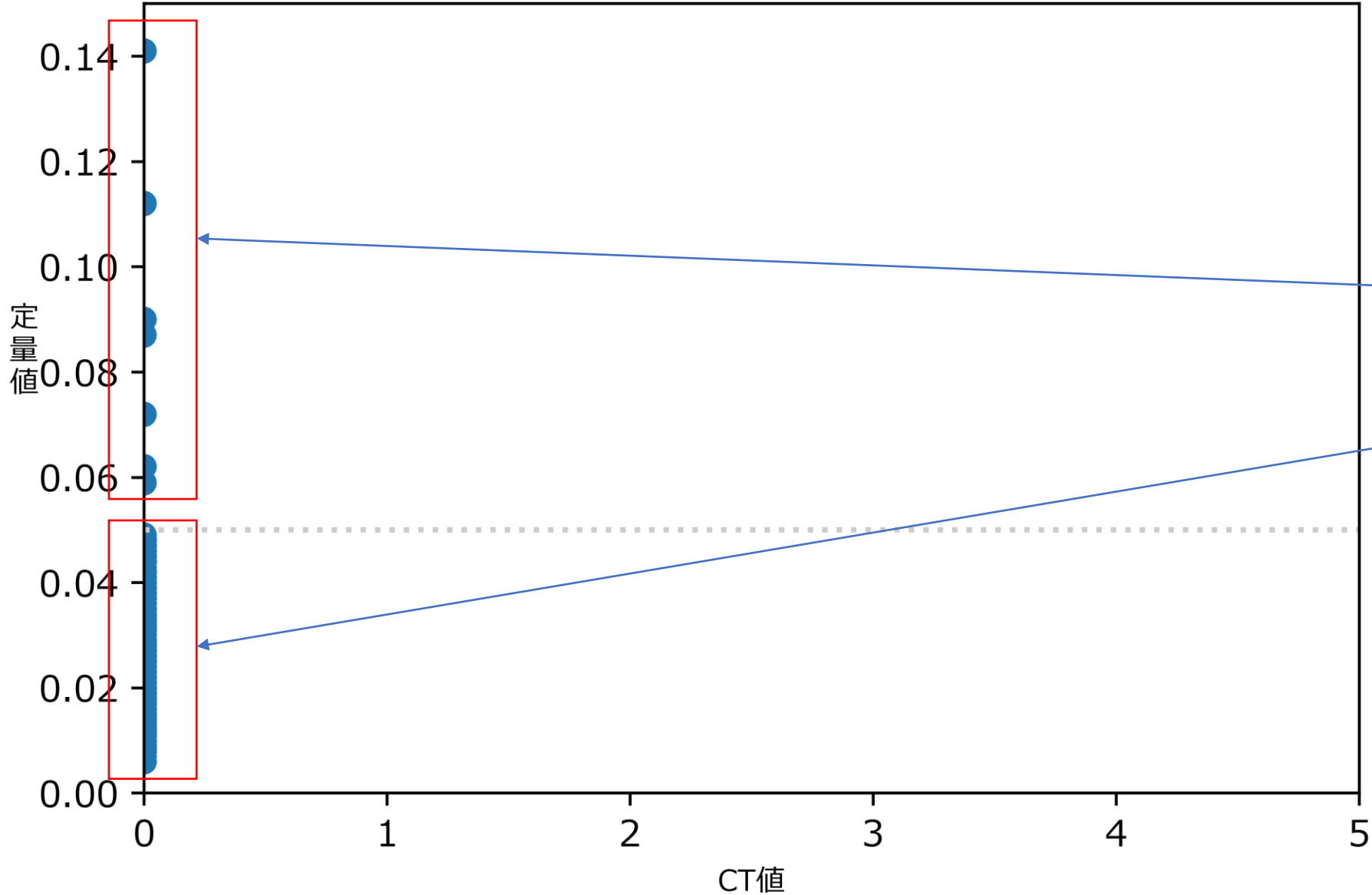
PCR検査陽性との比較



定量検査での陽性ラインである0.05近くを拡大してみました。

PCR検査で陽性反応がでてのに0.05を下回ったものが3点あります。

PCR検査陰性との比較



PCR検査では陰性で、CT値がなかったものだけをグラフ化しました。

PCR検査では陰性となっても定量値が陽性ラインを超えているものが7点あります。

また、PCR検査で陰性でも抗原定量の数値は出ています。